



子鳩だより

子鳩保育園のHP <https://kobato-kokubu.jp>



鍛錬（夏の遊び）

暑中お見舞い申し上げます

梅雨が明け、いよいよ夏も本番です。子どもたちは、太陽の陽ざしに負けないくらい元気いっぱいの、まぶしい笑顔で遊んでいます。

厳しい暑さの夏はまだまだ続き、疲れが出やすい時期になります。休息と水分をしっかりととり、熱中症などに十分気をつけながら、楽しく過ごしたいと思います。ご家族での外出も多くなる事と思います。子ども達に無理のない計画を立て、楽しい思い出をたくさん作りましょう。

熱中症に注意

猛暑日が続きますが、熱中症に気を付けましょう。熱中症とは、高温多湿な環境にいる事で、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内でも発症します。特に子どもは、体温の調節能力が十分に発達していないので、気を配る必要があります。こまめな水分補給や通気性の良い衣服を着用する等対策を取ることが重要です。もし熱中症が疑われたら、涼しい場所へ移り、全身を冷やす等の対策を取りましょう。

保育の話エトセトラ

8月の行事予定

- 6（火）避難訓練
- 11（日）山の日
- 12（月）振替休日
- 14（水）まごころ弁当日
- 19（月）体位測定
- 22（木）誕生会

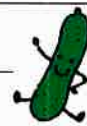


給食室より

五感で味わいましょう

子どもたちが生活の中で五感をフルに使うのが「食」の体験です。食べる事はもちろん、調理を手伝う事で食材に触れたり、匂いをかいだり、調理の音を聞いたりして五感を刺激する体験は、好奇心旺盛な子どもたちにとっても楽しい体験です。五感を刺激する事は、脳に伝わる情報量を増やして脳の発達を促します。

大人の2倍も敏感と言われる子どもの味覚を正しく育てるためにも、薄味を心がけ、五感で味わう習慣を身に付けましょう。



クラスだより

0歳児

ねらい
・保育者と一緒に安定した生活を送る

月齢が高い子は、1歳児クラスと一緒に水遊びを楽しんでいます。月齢の低い子も、シャワーや沐浴をして、気持ちよく過ごせるようにしています。初めは水を触ることが出来ませんでした。日を増すごとに慣れて、水に触れる事を楽しんでいますよ！その日の健康状態を考慮して過ごしたいと思えます。体調や変わった様子が見られる時は、登園時にお知らせ下さい。

1歳児

ねらい
・保育者や友だちと一緒に夏の遊びを楽しむ

園庭では、セミが元気に鳴いています。捕まえたセミを皆興味津々で観察して楽しんでいます。汗をかいたらシャワーをしてさっぱりします。着替えの際、ズボンを自分で履こうとしたり、月齢の低い子も保育者と一緒に足を入れようとしたりなど、自分でしようとする気持ちが出てきました。

天気の良い日は水遊びをします。体調で気になる様子がある時は、登園時にお知らせ下さい。

2歳児

ねらい
・夏ならではの遊びを友だちや保育者と楽しむ

少しずつ友だちと同じ遊びを楽しめるようになってきました。「一緒にしよう」「貸して」「いいよ」などのやりとりも見られるようになってきました。まだうまく言葉で伝えられずに、玩具を黙って取ったり、押したり、引っばったりとトラブルになることもあります。その時は、「貸してって言うてみようね」「一緒にしよう」など、保育者が言葉を添えて、相手に伝えていけるようにしています。これから、友だちとの関わりが増えていくと、自分の思い通りにいかない事や葛藤も出てくると思えます。それも成長の一つとして見守り、楽しく過ごしていきたいと思えます。



HAPPY and DREAM class

- ねらい
・夏ならではの遊びを楽しみ、こまめに休息と水分補給をしながら快適に過ごせるようにする
- 3才児・夏の生活の仕方が分かり、簡単な身の回りの事を自分でしようとする
- 4才児・夏の遊びを通して、水の感触を楽しみ、開放感を味わう
- 5才児・夏ならではの遊びをダイナミックに楽しみ、水や絵の具に触れる

先月の夏まつりごっこでは、皆で品物を作って楽しみました。紙コップや色画用紙をはさみで切ったり、折り紙を糊で貼る、シールに目を描くなどして、パタパタペンギンやロケット、パラシュートを作りました。難しい部分は年上の子が優しく教えてくれたりして、各年齢で出来る事を協力して作りました。異年齢での関わりがより一層深まったようです。みんなで頑張ったので、お家に持ってからも大切に遊んでくれたら嬉しいです。

ゆり組

青い空と白い雲、本格的な夏がやって来ました。子ども達は、太陽の日ざしに負けないくらいまぶしい笑顔で、園庭に出てセミ取りを楽しんでいます。新しい網で、交代しながらセミを追いかけています。捕まえたセミを目をキラキラさせながら眺めている姿がとてもかわいいです。熱中症や暑さを心配して室内あそびを好む子もいますが、対策をしながら、夏の遊びを楽しみ、子ども達の心身の充実を図っていききたいと思います。

